

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 羽黒百寿会

I 総括報告

社会福祉法人を取り巻く環境は変化しており、少子・高齢社会の一層の進展や人口減少並びに核家族化などにより、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、社会的孤立などの様々な地域課題・福祉課題が多様化、深刻化してきています。

こうした状況において、社会福祉法等の一部改正する法律により、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組」をポイントに社会福祉法人制度の見直しが行われた初年度となりました。

経営組織では、法改正により理事及び監事の改選期のため、平成28年度に評議員選任委員会で選任された8名の新評議員による第1回定時評議員会で、理事及び監事の選任を行いました。理事1名の入れ替えがあり、その他の理事及び監事の方々は再任されました。

同日午後の理事会で、理事長及び常務理事が選定されました。

法人の組織機構改正では、新たに居宅介護部長、包括支援部長を置き、介護予防・日常生活介護支援総合事業の対応、新規相談依頼があった時は、早急に対応できるように相談窓口が増えても支障なく対応できるように体制整備を行いました。

人材確保については、平成30年4月1日付採用で、介護士1名、介護支援専門員1名、保育士1名を採用し、職員登用では、介護士3名、管理栄養士1名、保育士3名を登用しました。看護師、介護士の人手不足が慢性化するなかで、安定した人材の確保を進めるために、高等学校の就職担当者への学校訪問やハローワークへの求人依頼、職員からの紹介のお願い等を実施しました。

健康管理については、メンタルヘルス対策のストレスチェックを実施し、産業医からの助言や指導を受けながら職員の健康管理に努めました。高ストレス者については、産業医の面接指導5名中、2名実施する事ができました。

健康診断では、安全衛生委員会を中心に看護師、保健師、各部署の部長から2次検査未受診者への声かけを強化し、未受診者は0名になることができました。

産業医からの健康指導・面談については、今後も協力をお願いして進めています。

經理事務の強化では、税理士による会計の毎月点検を継続し、月次財務諸表

の整合性チェック、残高確認、関係諸帳簿の整備と記帳について点検をお願いし、相談や指導については固定資産の会計処理、社会福祉充実計画に基づく社会福祉充実残高計算シートの記入についてなどあります。今後についても会計の毎月点検は継続し、財務規律強化に努めます。

設備整備では、給食運搬用温冷配膳車導入の為の調理室増築、公用車9台分のカーポートの建築、ガスバルク保護用上屋の建築、事務効率化のためのIT関連機器及びシステムの導入で事務・事業の効率化、利便性、省力化を図るよう進めました。

非常災害に関する具体的な計画（火災、水害、土砂災害、地震等の地域の実情を踏まえた災害にも対応できる計画）の策定については、関係機関はじめ地域社会との連携協力体制の構築も重要なため、非常災害対策計画の作成を引き続き検討していきます。

法人の地域貢献への取り組み状況については、「羽黒地域駅伝競走大会への職員チームの参加に加え、救護班を当法人の職員が担ったこと」・「第17回羽黒山石段マラソン全国大会の救護班を当法人の職員が担ったこと」・地域住民が誰でも参加できる「介護を支える羽黒百寿会（かみじ荘）」と題しての羽黒百寿会主催の介護教室の開催を行いました。

鶴岡市社会福祉協議会が主催する社会福祉法人連携で行う公益的な取り組みを考える研修会には各部長が参加し、各法人エリア、鶴岡市全体の地域課題の共有、また法人連携で取り組んでいける課題を話し合いました。

平成元年度開設の特養は、30年経過し、施設の延命化等の観点から、「施設の痛み具合がどの程度なのか」、「建設後の経過年度が30年程度で大規模改修が必要なのか」、「改修にはどの程度の経費が必要なのか」、調査する必要があり、特養の施設大規模改造調査業務を委託し、建築、電気設備、機械設備の劣化度診断調査業務行いました。診断結果では大きな劣化は無く、建築については30年程度ではまだ改修の必要は無く、電気設備、機械設備について小規模な部分の修繕として、デイサービスボイラー室に給・排気扇のダクト改修工事、洗濯室の床剥離部分の改修工事、手すりの補修等を行いました。

しかし給湯、暖房ボイラー設備、居室のエアコン等は不具合が生じると営業を休む事も想定されるため平成30年に更新を予定しております。その他については、経過を見ながら改修に対応していきます。

II 事業運営について

1. 規則・規程・要綱の制定、改正及び廃止

- (1) 社会福祉法人羽黒百寿会 定款施行細則の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (2) 社会福祉法人羽黒百寿会 役員の報酬等及び費用弁償に関する規則の廃止 (平成29年 6月 7日決議)
- (3) 社会福祉法人羽黒百寿会 管理規則の廃止 (平成29年 6月 7日決議)
- (4) 社会福祉法人羽黒百寿会 決裁規程の廃止 (平成29年 6月 7日決議)
- (5) 社会福祉法人羽黒百寿会 組織機構等に関する規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (6) 社会福祉法人羽黒百寿会 事務代決及び専決に関する規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (7) 社会福祉法人羽黒百寿会 文書取扱規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (8) 社会福祉法人羽黒百寿会 職員被服貸与要綱の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (9) 社会福祉法人羽黒百寿会 特別養護老人ホームかみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (10) 社会福祉法人羽黒百寿会 入所判定実施規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (11) 社会福祉法人羽黒百寿会 特別養護老人ホームかみじ荘入所者預り金等取扱要綱の廃止 (平成29年 6月 7日決議)
- (12) 社会福祉法人羽黒百寿会 ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (13) 社会福祉法人羽黒百寿会 ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘運営推進会議要綱の廃止 (平成29年 6月 7日決議)
- (14) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定短期入所生活介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (15) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (16) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (17) 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス(現行相当)事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (18) 社会福祉法人羽黒百寿会 認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (19) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定訪問介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (20) 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス(現行相当)事業所訪問介護かみじ荘運営規程の制定 (平成29年 6月 7日決議)
- (21) 社会福祉法人羽黒百寿会 障がい者居宅介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (22) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定居宅介護支援センターかみじ荘運営規程の一部改正 (平成29年 6月 7日決議)
- (23) 社会福祉法人羽黒百寿会 地域包括支援センターかみじ荘(介護予防支援)運営規程の一部

改正	(平成 29 年 6 月 7 日決議)
(24) 社会福祉法人羽黒百寿会 貴船保育園運営規程の一部改正	(平成 29 年 6 月 7 日決議)
(25) 社会福祉法人羽黒百寿会 就業規則の全部改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(26) 社会福祉法人羽黒百寿会 給与規定等の改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(27) 社会福祉法人羽黒百寿会 育児・介護休業等に関する規程の全部改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(28) 社会福祉法人羽黒百寿会 経理規程の全部改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(29) 社会福祉法人羽黒百寿会 嘱託職員取扱要綱等の廃止	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(30) 社会福祉法人羽黒百寿会 契約職員取扱規程の制定	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(31) 社会福祉法人羽黒百寿会 セクシャルハラスメントの防止に関する規程の廃止	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(32) 社会福祉法人羽黒百寿会 ハラスメントの防止に関する規程の制定	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(33) 社会福祉法人羽黒百寿会 職員の懲戒処分の基準に関する規程の制定	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(34) 社会福祉法人羽黒百寿会 公印管理規程の制定	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(35) 社会福祉法人羽黒百寿会 特定個人情報取扱規程の制定	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(36) 社会福祉法人羽黒百寿会 安全衛生管理規程の一部改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(37) 社会福祉法人羽黒百寿会 定年後の再雇用制度に関する規程の一部改正	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(38) 社会福祉法人羽黒百寿会 人事考課要綱の廃止	(平成 29 年 6 月 23 日決議)
(39) 社会福祉法人羽黒百寿会 契約職員取扱規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(40) 社会福祉法人羽黒百寿会 経理規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(41) 社会福祉法人羽黒百寿会 認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営推進会議要綱の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(42) 社会福祉法人羽黒百寿会 組織機構等に関する規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(43) 社会福祉法人羽黒百寿会 貴船保育園運営規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(44) 社会福祉法人羽黒百寿会 泉学童保育所運営規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(45) 社会福祉法人羽黒百寿会 広瀬学童保育所運営規程の一部改正	(平成 29 年 11 月 28 日決議)
(46) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正	(平成 30 年 3 月 19 日決議)
(47) 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス(現行相当)事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正	(平成 30 年 3 月 19 日決議)
(48) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘(認知症対応型)運営規程の一部改正	(平成 30 年 3 月 19 日決議)
(49) 社会福祉法人羽黒百寿会 指定訪問介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正	(平成 30 年 3 月 19 日決議)

2. 資産総額の変更

資産の総額 金1,505,900,560円

平成29年 3月31日変更 平成29年6月30日登記

3. 【平成29年度役員及び評議員、評議員選任委員】

職名	氏名
理事長	中村 博信
常務理事	武田 功之
理事	寒河江 健二 (H29.6.22まで) 金野 和夫、勝木 正人、齋藤 敬 佐藤 いく子、 齋藤 源一 (H29.6.23から)
監事	吉住 光正、岡部 明
評議員	天野 俊秀、榎本 トヨ、菅井 郁 菅原 信子、宮田 仁、丸山 一樹 齋藤 広海、百瀬 ゆり
評議員選任委員	岡部 明、大川 重徳、山口 弘男、 渡部 幸也、草島 歩
苦情解決第三者委員	山口 弘男、岩城 一重

組織運営について

1. 役員及び評議員の構成

理事 7名 監事 2名

評議員 8名

2. 理事会の開催（4回開催）

第1回理事会 平成29年 6月7日（水）

◎出席者 理事7名（欠席者0名）

◎審議案件

- (1) 報告第1号 社会福祉法人羽黒百寿会 主要事項報告・理事長及び常務理事の職務執行状況について
- (2) 議第 1号 社会福祉法人羽黒百寿会 特別養護老人ホームかみじ荘運営規程の一部改正について
- (3) 議第 2号 社会福祉法人羽黒百寿会 特別養護老人ホームかみじ荘入所判定実施規程の一部改正について
- (4) 議第 3号 社会福祉法人羽黒百寿会 特別養護老人ホームかみじ荘入所者預り金等取扱要綱の廃止について
- (5) 議第 4号 社会福祉法人羽黒百寿会 ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘運営規程の一部改正について
- (6) 議第 5号 社会福祉法人羽黒百寿会 ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘運営

推進会議要綱の廃止について

- (7) 議第 6 号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定短期入所生活介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (8) 議第 7 号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (9) 議第 8 号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正について
- (10) 議第 9 号 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス（現行相当）事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の制定について
- (11) 議第 10 号 社会福祉法人羽黒百寿会 認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営規程の制定について
- (12) 議第 11 号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定訪問介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (13) 議第 12 号 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス（現行相当）事業所訪問介護かみじ荘運営規程の制定について
- (14) 議第 13 号 社会福祉法人羽黒百寿会 障がい者居宅介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (15) 議第 14 号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定居宅介護支援センターかみじ荘運営規程の一部改正について
- (16) 議第 15 号 社会福祉法人羽黒百寿会 地域包括支援センターかみじ荘（介護予防支援）運営規程の一部改正について
- (17) 議第 16 号 社会福祉法人羽黒百寿会 貴船保育園運営規程の一部改正について
- (18) 議第 17 号 社会福祉法人羽黒百寿会 定款施行細則の一部改正について
- (19) 議第 18 号 社会福祉法人羽黒百寿会 役員の報酬等及び費用弁償に関する規則の廃止について
- (20) 議第 19 号 社会福祉法人羽黒百寿会 管理規則の廃止について
- (21) 議第 20 号 社会福祉法人羽黒百寿会 決裁規程の廃止について
- (22) 議第 21 号 社会福祉法人羽黒百寿会 組織機構等に関する規程の制定について
- (23) 議第 22 号 社会福祉法人羽黒百寿会事務代決及び専決に関する規程の制定について
- (24) 議第 23 号 社会福祉法人羽黒百寿会 職員被服貸与要綱の一部改正について
- (25) 議第 24 号 社会福祉法人羽黒百寿会 文書取扱規程の制定について
- (26) 議第 25 号 平成 28 年度社会福祉法人羽黒百寿会事業報告の承認について
- ・特別養護老人ホームかみじ荘
 - ・ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘
 - ・指定短期入所生活介護事業所かみじ荘
 - ・指定ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘
 - ・認知症対応型通所介護事業所かみじ荘
 - ・指定訪問介護事業所かみじ荘
 - ・障がい者居宅介護事業所かみじ荘

- ・指定居宅介護支援センターかみじ荘
- ・地域包括支援センターかみじ荘
- ・鶴岡市立貴船保育園
- ・羽黒子育て支援センター
- ・泉学童保育所
- ・広瀬学童保育所

- (27) 議第26号 平成28年度社会福祉法人羽黒百寿会会計収支決算の承認について
 (28) 議第27号 社会福祉法人羽黒百寿会定時評議員会の開催について

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

第2回理事会 平成29年 6月23日(金)

◎出席者 理事7名(欠席者0名) 監事2名

◎審議案件

- | | | |
|------------|-------------|-----------------------------|
| (1) 報告第2号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 主要事項報告・理事長及び常務理事の職務執行状況について |
| (2) 議第28号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 理事長の選定について |
| (3) 議第29号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 常務理事の選定について |
| (4) 議第30号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 収入支出補正予算について |
| (5) 議第31号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 就業規則の全部改正について |
| (6) 議第32号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 給与規定等の改正について |
| (7) 議第33号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 育児・介護休業等に関する規程の全部改正について |
| (8) 議第34号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 経理規程の全部改正について |
| (9) 議第35号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 嘱託職員取扱要綱等の廃止について |
| (10) 議第36号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 契約職員取扱規程の制定について |
| (11) 議第37号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | セクシャルハラスメントの防止に関する規程の廃止について |
| (12) 議第38号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | ハラスメントの防止に関する規程の制定について |
| (13) 議第39号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 職員の懲戒処分の基準に関する規程の制定について |
| (14) 議第40号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 公印管理規程の制定について |
| (15) 議第41号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 特定個人情報取扱規程の制定について |
| (16) 議第42号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 安全衛生管理規程の一部改正について |
| (17) 議第43号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 定年後の再雇用制度に関する規程の一部改正について |
| (18) 議第44号 | 社会福祉法人羽黒百寿会 | 人事考課要綱の廃止について |

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

第3回理事会 平成29年11月28日(火)

◎出席者 理事7名 監事2名

◎審議案件

- (1) 報告第3号 社会福祉法人羽黒百寿会 主要事項報告・理事長及び常務理事の職務執行状況について
- (2) 報告第4号 社会福祉法人羽黒百寿会認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (3) 議第45号 社会福祉法人羽黒百寿会 契約職員取扱規程の一部改正について
- (4) 議第46号 社会福祉法人羽黒百寿会 経理規程の一部改正について
- (5) 議第47号 社会福祉法人羽黒百寿会 認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営推進会議要綱の一部改正について
- (6) 議第48号 社会福祉法人羽黒百寿会 組織機構等に関する規程の一部改正について
- (7) 議第49号 社会福祉法人羽黒百寿会 貴船保育園運営規程の一部改正について
- (8) 議第50号 社会福祉法人羽黒百寿会 泉学童保育所運営規程の一部改正について
- (9) 議第51号 社会福祉法人羽黒百寿会広瀬学童保育所運営規程の一部改正について

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

第4回理事会 平成30年3月19日(月)

◎出席者 理事7名 監事2名

◎審議案件

- (1) 報告第5号 社会福祉法人羽黒百寿会 主要事項報告・理事長及び常務理事の職務執行状況について
- (2) 議第52号 社会福祉法人羽黒百寿会指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正について
- (3) 議第53号 社会福祉法人羽黒百寿会 介護予防・日常生活支援総合事業通所介護サービス(現行相当)事業所デイサービスセンターかみじ荘運営規程の一部改正について
- (4) 議第54号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘(認知症対応型)運営規程の一部改正について
- (5) 議第55号 社会福祉法人羽黒百寿会 指定訪問介護事業所かみじ荘運営規程の一部改正について
- (6) 議第56号 社会福祉法人羽黒百寿会 施設大規模改修積立金の取崩しについて
- (7) 議第57号 社会福祉法人羽黒百寿会 収入支出補正予算について
- (8) 議第58号 平成30年度社会福祉法人羽黒百寿会の事業計画について
- (9) 議第59号 平成30年度社会福祉法人羽黒百寿会の収入支出予算について
- (10) 議第60号 平成30年度社会福祉法人羽黒百寿会第2回評議員会の開催について

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

3. 理事協議会の開催（2回開催）

第1回理事協議会 平成29年11月28日（火）

◎出席者 理事7名 監事2名

◎協議内容

（1）資金運用について

第2回理事協議会 平成30年3月19日（月）

◎出席者 理事7名 監事2名

◎協議内容

（1）資金運用について

4. 監事会、監査の実施

1) 平成29年4月26日（水）

荒川税理士事務所・荒川税理士による平成28年度決算会計監査

2) 平成28年度決算監査（定款第19条、第34条第1項による）

実施の日時 平成29年5月25日（木） 9時30分から17時00分

5月26日（金） 9時00分から17時00分

出席者 監事 吉住 光正 監事 岡部 明

3) 平成29年度介護保険施設等実地指導

実施の日 平成29年12月6日（水）

監査対象施設 特別養護老人ホームかみじ荘（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘（介護老人福祉施設・短期入所生活
介護）

実地指導職員 庄内総合支庁地域保健福祉課 3名

立会者及び受験者 入所介護部長、特養第1課長、特養第2課長

4) 平成29年度一般指導監査

実施の日 平成30年2月1日（木）

実地指導対象 法人

指導監査職員 鶴岡市健康福祉部 3名

立会者及び受験者 常務理事、保育園長、総務部長、事務係長 2名

5. 評議員会の開催（2回開催）

第1回評議員会 平成29年 6月23日（金）

◎出席者 評議員8名（欠席者0名）

監事 1名

◎審議議案

（1）議第 1号 社会福祉法人羽黒百寿会 理事及び監事の選任について

（2）議第 2号 平成28年度社会福祉法人羽黒百寿会 事業報告の承認について

- ・特別養護老人ホームかみじ荘
- ・ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘
- ・指定短期入所生活介護事業所かみじ荘
- ・指定ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘
- ・指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘
- ・認知症対応型通所介護事業所かみじ荘
- ・指定訪問介護事業所かみじ荘
- ・障がい者居宅介護事業所かみじ荘
- ・指定居宅介護支援センターかみじ荘
- ・地域包括支援センターかみじ荘
- ・鶴岡市立貴船保育園
- ・羽黒子育て支援センター
- ・泉学童保育所
- ・広瀬学童保育所

- (3) 議第 3号 平成 28 年度社会福祉法人羽黒百寿会 会計収支決算の承認について
- ・特別養護老人ホームかみじ荘 拠点区分
 - ・保育所 拠点区分
- 監事監査報告

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

第2回評議員会 平成30年3月27日（火）

◎出席者 評議員 8名（欠席者 0名）

◎審議議案

- (1) 議第 4号 社会福祉法人羽黒百寿会 収入支出補正予算について
- (2) 議第 5号 平成 30 年度社会福祉法人羽黒百寿会の事業計画について
- (3) 議第 6号 平成 30 年度社会福祉法人羽黒百寿会の収入支出予算について

◎審議の結果 各議案とも原案のとおり決議する。

III 理事長・常務理事の職務執行状況及び主要事項報告

29年4月 3日（月）鶴岡市立貴船保育園入園式、新入園児 23名 理事長 常務理事出席
辞令交付式 介護保険施設 13:30 貴船保育園 14:15

4日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

11日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
保育所経営者協議会役員会打合せ 11:00 理事長出席

12日（水）保育所経営者協議会役員会 10:00 理事長、園長出席

13日（木）家族会役員会打合せ 18:30 入所介護部長、課長出席

14日（金）管理職会議 9:30～11:00
常務理事、園長、各部長、各課長、主幹
庄内地区特養連絡協議会総会 14:00 ゆうすい（遊佐）
入所介護部長出席

18日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

19日（水）臨時介護員、パート介護員の面接 9:30～10:30
常務理事、総務部長 入所介護部長、通所介護部長、居宅介護部長
鶴岡市羽黒地区民生児童委員会協議会定例会・総会 15:30
総務部長、入所介護部長、通所介護部長、居宅介護部長、包括支援部長出席

25日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

30日（日）家族会総会及び奉仕作業 9:30～11:30
利用者車椅子掃除 施設窓拭き 31名

5月 2日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
9日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
臨時介護員面接 16:00～16:30
常務理事、総務部長 入所介護部長、通所介護部長、居宅介護部長

16日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
羽黒育英会理事会 14:30 常務理事出席
鶴岡市保育園経営者協議会総会 15:00
グランドエルサン 理事長、園長出席

23日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

25日（木）法人監事監査 第1日目 9:30～16:30 理事長、常務理事出席

26日（金）法人監事監査 第2日目 9:00～16:00 理事長、常務理事出席

27日（土）JA庄内たがわ奉仕作業 9:00～10:30 草刈 窓拭き 10名

6月 1日（木）鶴岡市保育園経営者協議会臨時役員会 10:00～
貴船保育園 理事長、園長出席

2日（金）山形県社会福祉法人経営者協議会総会・研修会 ヒルズサンピア
理事長、小林部長、寒河江部長、鈴木係員出席

6日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

6月 7日（水）第1回理事会 13：30～16：00

9日（金）パート介護員の面接 10：00～10：30
常務理事、総務部長 入所介護部長、居宅介護部長

23日（金）第1回 評議員会 9：30
第2回 臨時理事会 13：30

28日（水）鶴岡市社会福祉協議会 評議員会 14：00
出羽庄内国際村 常務理事出席

30日（金）、7月1日（土）鶴岡地区特養連絡協議会 理事長 常務理事出席

7月 3日（月）居宅介護サービス事業所等集団指導 13：30 余目響ホール
小林部長、寒河江部長、菅原課長出席

4日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
施設サービス事業所等集団指導 13：30 余目響ホール
佐藤部長、小関課長、伊藤課長、伊藤主幹出席

11日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
児童福祉施設に対する指導監査 13：30 庄内支庁

13日（木）山形県経営協セミナー 天童舞鶴荘 13：00～16：30
総務部長、鱸係長、佐々木出席

14日（金）社会福祉法人連携で行う公益的な取組を考える研修会
鶴岡市総合保健福祉センター 13：30～16：30
総務部長、入所介護部長、通所介護部長、居宅介護部長、包括介護部長出席

18日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

20日（木）入所検討委員会 10：00
鶴岡市立貴船保育園夕涼み会 18：00 理事長出席

25日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

27日（木）日赤奉仕団奉仕作業 8：30～11：00 24名参加

31日（月）管理職会議 13：30～16：00
常務理事、園長、各部長、主幹出席

8月 1日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

4日（金）事務局会議 13：30～14：30
常務理事、総務課事務局員出席

5日（土）かみじ荘夏祭り 18：00～19：30 理事長、常務理事出席
利用者、家族、来賓、協力者 150名出席

8日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
羽黒すこやかな会 300回慰問で感謝状贈呈 14：00
常務理事から感謝状贈呈

17日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

22日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

8月25日（金）鶴岡中央高校生 実習 2名
苦情対応実践研修会 天童ホテル
佐藤部長・小関（友）課長出席

29日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

9月 5日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
大東保育園慰問 3・4・5歳児 18名来荘

7日（木）羽黒ライオンズクラブ奉仕作業 9：30～11：00 9名

12日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

13日（水）三幸寿司慰問 11：00～13：00

15日（金）庄内地区特養連絡協議会防災ネットワーク電話伝達訓練

17日（日）平成29年度（平成30年4月採用予定）職員採用試験
第1次試験 教養試験 9：30～11：00 4名対象

19日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

20日（水）慰靈祭 10：00～10：30 遺族3名参加 常務理事出席

22日（金）山形県高齢者寿賀贈呈式 11：00 地域保健福祉課2名来荘

26日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

26日（火）、27日（水）特養部会施設長研修会 寒河江市 総務部長出席

10月 3日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

4日（水）鶴岡市社会福祉協議会 評議員会 常務理事出席

6日（木）平成29年度（平成30年度4月採用予定）職員採用試験 3名対象
2次試験作文、面接 理事長、常務理事、園長、総務部長出席

7日（土）鶴岡市立貴船保育園 運動会 理事長出席

8日（日）羽黒地区駅伝大会 地域貢献による役員派遣 4名

10日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

11日（水）鶴岡市長選挙 鶴岡市議会議員選挙の不在者投票
10：00 入居者 12名対象 立会 常務理事、山口弘男

17日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事

18日（水）第48回衆議院議員総選挙の不在者投票 10：00
入居者 12名対象 立会 常務理事、山口弘男

19日（木）入所判定委員会 10：00 待機者68名 常務理事出席

20日（金）契約職員面接 看護師1名 9：30 常務理事、各部長出席

22日（日）羽黒山石段マラソン 地域貢献による看護師派遣 1名

23日（月）羽黒育英会理事会 13：30 羽黒庁舎 常務理事

24日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
認知症対応型通所介護事業所かみじ荘運営推進会議
外部委員4名、常務理事、職員5名出席

25日（水）総合防災訓練 14：00 常務理事出席

- 10月31日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
鶴岡三中 3年6組慰問（合唱） 30名来莊
- 11月 1日（水）採用 看護師1名、派遣介護士 派遣1名
3日（金）家族会奉仕作業 9:30～11:00 家族28名参加
7日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
9日（木）社会福祉法人一幸会サテライトプラザ記念式典・祝賀会
18:00 グランドエルサン 総務部長出席
- 10日（金）社会福祉法人連携で行う公益的な取組を考える研修会
13:00～16:20 にこふる 各部長5名出席
- 13日（月）山形県・県民福祉大会 13:00～15:30 新庄市民文化会館
草島、佐藤（庄）、小林（恵）部長、小関（友）課長、鈴木（美）主査出席
- 14日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 15日（水）社会福祉法人桃寿荘創立30周年記念式典
黒川王祈会館 理事長出席
- 21日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 28日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
理事協議会及び第3回理事会 13:30～16:00
- 12月 5日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
6日（水）保育園経営者協議会 14:30 グランドエルサン 理事長出席
特別養護老人ホームかみじ荘実地指導監査 10:00～16:00
- 10日（日）平成29年度 職員登用試験 1次試験 教養試験 9:00
介護士5名 管理栄養士1名 保育士3名
- 19日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 21日（木）保育所クリスマス遊戯会 9:00 理事長出席
- 26日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 27日（水）職員登用試験 2次試験 面接 理事長、常務理事、園長、総務部長
介護士5名 管理栄養士1名 保育士3名
- 1月 4日（木）鶴岡市新年名刺交換会 11:00 エルサン 理事長出席
羽黒地域新年祝賀会 15:30 羽黒ヨシヤ 理事長、常務理事出席
- 5日（金）長寿賀伝達式 11:00 3名対象 支所長、他2名 常務理事
- 9日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 10日（水）鶴岡市社会福祉協議会評議員会 にこふる 10:00 常務理事出席
鶴岡地区特養連絡協議会包括要望書提出 15:30 常務理事出席
- 16日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 18日（木）入所検討委員会 10:00 常務理事出席 待機者69名
- 23日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 30日（火）決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 31日（水）保育所説明会 10:00 理事長、常務理事、子育て推進課長、他2名

- 2月 1日 (木) 法人に対する一般指導監査 13:30 常務理事、総務部長、他2名
鶴岡市健康福祉課長補佐、長寿介護課長補佐、子育て推進課専門員
- 6日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 13日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 14日 (水) 公益財団法人羽黒育英会理事会 10:00 羽黒庁舎 常務理事出席
- 15日 (木)、16日 (金) 庄内地区特養連絡協議会施設長研修会
湯野浜温泉亀や 総務部長出席
- 20日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 21日 (水) 職員採用試験 面接 対象1名 常務理事、総務部長
- 24日 (土) 地域貢献事業「介護者教室」ゆぽか 32名参加
「介護保険概要説明、低栄養にならないために」について
- 27日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 3月 6日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 13日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
鶴岡市立貴船保育園卒園式 26名 10:00 理事長出席
通所介護認知症運営推進会議 14:00 常務理事出席
- 19日 (月) 第4回理事会同日第2回理事協議会 13:30~17:00
- 20日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
- 27日 (火) 決裁及び執行状況確認・打合せ 理事長、常務理事
第2回評議員会 13:30~16:00
- 29日 (木) 鶴岡市社会福祉協議会評議員会 13:30 常務理事出席
- 30日 (金) 退職辞令公式 16:00 理事長、常務理事
園長、総務、通所、居宅、包括支援部長出席

IV 各施設運営報告

特別養護老人ホーム かみじ荘

◆総括

入所者ひとりひとりの能力に合わせてできない部分はお手伝いし、できる部分は本人の気持ちに寄り添い見守りすることで、身体的、精神的に自立した生活が送れるよう支援しました。

単調になりがちな日常生活の中に張り合いや喜びが持てるようその方の生活歴にもとづいた関わりを心掛けるとともに、事故のない安心安全な生活の提供に努めました。

◆重点目標に対する成果・達成

退所者が14名あり施設で看取りをされた方は7名おりました。老衰の方や基礎疾患の治療が難しい方など様々でしたが施設で穏やかに最期を迎えさせたいご家族の意向のもと、施設ケアマネが中心となり多職種連携し看取りケアを行いました。

積極的に認知症ケアの研修会に参加し認知症の理解を深め支援の方法やより良い関わり方を学びました。試行錯誤しながらでしたが入所者が生き生きとその方らしく過ごせる環境づくりに取り組みました。

【入退所状況】 (50床)

	27年度	28年度	29年度
新規入所者	13	19	13
退 所 者	14	18	14
施設で看取り	(7)	(7)	(7)
病院で死亡	(5)	(6)	(4)
長期療養の為退所	(2)	(3)	(2)
施設で急変	(0)	(2)	(1)
利 用 率	97.0%	96.2%	95.3%

【平均介護度】 (50床)

	27年度	28年度	29年度
平均介護度	4.3	4.5	4.4

◆事業の実施結果

○感染症対策と健康管理

近隣地域のインフルエンザ流行に対し、感染症対策委員会を中心に対応策を検討し早期対応にて感染防止に努め、インフルエンザ罹患者なく過ごすことができました。面会制限を設けた際はご家族の皆さんにはご理解ご協力をいただきました。

【インフルエンザ・入院】

(50床)

	インフルエンザ		入院者	入院延べ 日数
	予防接種	罹患者		
27年度	50	19	19	437
28年度	47	0	22	423
29年度	47	0	20	401

【入所者利用率】

(50床) (単位 : %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	99.4	96.5	96.0	91.0	94.4	95.5	96.8	99.2	96.0	101.7	100.7	96.5	97.0
28年度	94.6	95.2	96.2	96.8	96.9	99.0	96.0	99.2	96.7	95.7	96.7	96.0	96.2
29年度	93.7	96.0	94.3	98.8	97.0	99.0	96.0	89.0	91.2	95.3	95.8	97.7	95.3

○介護リスクマネジメント

骨折事故はなかったが転落による頭部裂傷事故があり受診を行っています。薬の飲ませ忘れが2件、転落による打撲が2件ありました。

ヒヤリハットも含め職員の慣れによるものやお互い声を掛け合うことで防げる事例もあり、原因の検証と再発防止策を講じました。

常に危機意識を持ち、些細な変化にも気を配り職員間の情報共有をしていきます。

【事故・ヒヤリハット報告】

(50床)

	事故	骨折	擦過傷	その他	ヒヤリハット
27年度	6	(1)	(4)	(1)	5
28年度	6	(1)	(3)	(2)	3
29年度	6	(0)	(1)	(5)	2

○安全衛生対策

介護職の腰痛対策として、外部指導員による腰痛予防研修会を実施し23名が参加しました。介護現場での中腰姿勢や前傾姿勢、体重の重い方の移乗など腰痛リスクは高い現状ですが、ストレッチ体操や腰ベルト着用を行うなど腰痛予防に対する意識の高まりがありました。

○人材育成と資質向上

職員のレベルアップを目指し各種研修会参加や内部研修の実施にて学びの機会を多く設けました。

H27年度の制度改正にて介護福祉士受験要件が厳しくなっていますが、施設としても実務者研修受講の体制を整え今年度は3名合格することができました。

【内部研修参加状況】 (ユニット型特養共通)

実 施 月	研 修 内 容	参加人数
5月	認知症の理解・対応について	19
	介護現場のヒヤリハット危険予知訓練	10
	発電機作動訓練	12
6月	脱水症・水分管理について (外部講師)	28
	食中毒予防・嘔吐物処理手洗いについて	16
7月	手洗いの必要性について (外部講師)	26
8月	介護負担軽減と安全な移乗・移動	14
9月	緊急時の対応・応急処置について	12
	発電機作動訓練	12
10月	摂食・嚥下障害について (外部講師)	21
11月	インフル・ノロウイルス対策	17
	非常食・非常食用具の保管場所の確認	12
12月	外部研修の伝達 (看取り・認知症)	14
1月	発電機作動訓練	11
2月	口腔ケアについて (外部講師)	15
		合計 239人

【外部・県研修センター】 (ユニット型特養共通)

	研修内容	人數
4月	施設看護職員の認知症看護研究	1
5月	特養部会 生活相談員研究会	2
	カウンセリングゼミナール【前期】	1
	若者向けメンタルヘルス研修会	1
	社会福祉主事 面接授業	1
	研修センター主催「福祉職員による実践研究」	1
	特養部会 栄養士研修会	1
	専門分野ベーシックコース「皮膚・排泄ケア」	1
	喀痰吸引研修	1
6月	特養部会 前期看護研究会	1
	職場研修指導者研修【前期】	1
	社会福祉主事面接授業	1
	カウンセリングゼミナール【後期】	1
	喀痰吸引研修	1
	介護福祉士 実務者研修	2
7月	特養部会 前期介護職員研修会	1
	胃ろうセミナー(スキンケアとトラブル)	1
	ユニットリーダー研修	1
	専門分野ベーシックコース「感染管理」	1
	研修センター主催「福祉職員による実践研究」	1
	マネジメントスキル習得研修1	1
	機能訓練指導員研究会第1回研修会	1
	介護福祉士 実務者研修	4
8月	鶴岡市医療と介護の連携研修会	1
	鶴岡市認知症キャラバンメイトフォローアップ研修会	1
	苦情対応実践研修会	2
	特養部会 生活相談員研究会	1
	マネジメントスキル習得研修2.3	1
	栄養士・調理担当者研修会	1
	主任介護支援専門員更新研修	1
	介護福祉士 実務者研修	3
9月	地域感染症対策合同カンファレンス	1
	庄内地区特養連絡協議会職員研修会	5
	鶴岡市社会福祉協議会 公開講演	3

9月	マネジメントスキル習得研修4 認知症実践者研修 主任介護支援専門員更新研修	1 1 1
10月	研修センター主催「対人援助技術を用いて利用者と向き合う」 特養部会 後期介護職員研修会 特養部会 後期看護研修会 特養部会 栄養士、調理師研修会 鶴岡市介護保険適正推進事業研修会 特養部会 主任介護職員研修会 職場研修指導者研修【後期】 研修センター主催「認知症の人に対する支援の方法」 研修センター主催「福祉職員による実践研究」 マネジメントスキル習得研修5 主任介護支援専門員更新研修 喀痰吸引研修	1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1
11月	機能訓練指導員研究会第2回研修会 認知症キャラバンメイト養成研修会 認知症実践者研修 施設送迎運転者勉強会 生活相談員研究会多職種合同研究会 高齢者虐待防止研修会 胃ろうセミナー（スキンケアとトラブル） 特養部会施設介護支援専門員研修会 研修センター主催 初任者キャリアアップ研修 マネジメントスキル習得研修6 喀痰吸引研修	1 2 1 1 1 1 3 1 1 1 1
12月	胃ろうセミナー（簡易懸濁法と薬剤投与） 庄内地域糖尿病重症化予防研修会 マネジメントスキル習得研修7	4 1 1
2月	庄内地区特別養護老人ホーム相談員会議 栄養士研修会 介護報酬改定セミナー	1 1 1
	合計	88人

○地域交流と慰問

手向地区ならではの地域行事に触れる機会を持つことができました。保育園、小学校、中学校の慰問も増え、普段あまりない子供たちとの触れ合いに入所者の方たちは大変喜ばれました。毎年恒例となっている奉仕活動の方々のおかげで施設内外が綺麗に維持できており、とても感謝しております。

【慰問・奉仕作業・施設見学】

5月	庄内たがわ農業協同組合奉仕活動
7月	貴船保育園交流 羽黒山花祭り 子供みこし 日赤奉仕活動
9月	大東保育園慰問 三幸寿司 ライオンズクラブ奉仕活動 羽黒太鼓 寿賀伝達式（山形県）
10月	鶴岡第三中学校3年生
11月	貴船保育園慰問 家族会奉仕活動
1月	獅子舞 寿賀伝達式（鶴岡市） 塞の神

*月2回羽黒婦人会のボランティア（リネン交換）・理容組合のボランティアで来荘していただきました。

○入退所の適正化

【入所待機者】

年間5回入所検討委員会を開催し、33名入所確定となりました。待機している間の死亡や他施設入所など状況変化も多くありました。

	羽黒	鶴岡	藤島	朝日	その他	合計
27年度	54	50	11	8	5	128
28年度	39	29	6	4	1	79
29年度	30	23	4	1	3	61

【新規入所申込み】（ユニット型特養共通）

27年度	28年度	29年度
72件	51件	46件

ユニット型特別養護老人ホーム かみじ荘

◆総括

「共に生きる」の理念の実現に向け、職員と入居者が一緒に過ごす中で馴染みの関係を築けるよう支援しました。個人の過ごし方や好みを尊重し個別に対応を行いました。外出の機会を増やし戸外散歩など外気に触れ四季を感じられる場面を多く持つことで刺激や楽しみのある生活を提供しました。

◆重点目標に対する成果・達成

退所者が6名あり施設で看取りをされた方は3名おりました。施設で穏やかに最期を迎えさせたいご家族の意向のもと、施設ケアマネを中心となり多職種連携し看取りケアを行いました。

積極的に認知症ケアの研修会に参加し認知症の理解を深め支援の方法、より良い関わり方を学びました。暮らし方を時系列で把握する24時間シートの活用と個別ケアの取り組みを継続し、その人らしい生活の提供に努めました。

日頃の生活の様子をおたよりにまとめ定期的にご家族へお知らせし大変喜んでいただけました。

【入退所状況】 (30床)

	27年度	28年度	29年度
新規入所者	7	5	5
退 所 者	6	5	6
施設で看取り	(2)	(1)	(3)
病院で死亡	(2)	(3)	(1)
長期療養の為退所	(1)	(1)	(0)
施設で急変	(1)	(0)	(2)
利 用 率	96.8%	96.5%	97.7%

【平均介護度】

	27年度	28年度	29年度
平均介護度	3.8	3.8	4.0

◆事業の実施結果

○感染症対策と健康管理

近隣地域のインフルエンザ流行に対し、感染症対策委員会を中心に対応策を検討し早期対応と感染防止に努め、インフルエンザ罹患者なく過ごすことができました。面会制限を設けた際はご家族の皆さんにはご理解ご協力をいただきました。

今年度は入院者が少なく入院延べ日数は前年度の1/3程だったことから比較的安定した体調で過ごせた一年でした。

【インフルエンザ・入院】

(30床)

	インフルエンザ		入院者	入院 延日数
	予防接種	罹患者		
27年度	30	0	13	348
28年度	29	5	10	283
29年度	29	0	5	101

【入所者利用率】

(30床) (単位 : %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	93.0	99.3	97.5	97.8	98.3	97.4	99.0	95.3	95.5	95.0	95.2	97.6	96.8
28年度	93.7	96.6	96.7	97.5	98.2	95.8	94.3	98.3	98.9	92.6	93.3	100	96.5
29年度	95.0	100	96.2	98.3	100	96.5	100	96.7	90.7	100	99.5	99.4	97.7

○介護リスクマネジメント

骨折事故が2件、薬の飲ませ忘れが2件、車椅子からの転落が5件ありました。骨折については二人の方共、温存治療となり施設に戻られ過ごされました。

ヒヤリハットも含め職員の慣れによるものやお互い声を掛け合うことで防げる事例がほとんどで原因の検証と再発防止策を職員全員で話し合いました。常に危機意識を持ち、些細な変化にも気を配り職員間の情報共有にて安全な介護を目指していきます。

【事故・ヒヤリハット報告】

	事故	骨折	擦過傷	その他	ヒヤリハット
27年度	11	(3)	(4)	(4)	11
28年度	15	(1)	(7)	(7)	1
29年度	11	(2)	(2)	(7)	2

○人材育成と資質向上

ユニットリーダー研修へ1名参加しました。仙台認知症研修センターにて座学受講後、実習施設特養「おおやま」にて研修しました。ユニットリーダーとして求められる資質について学び自身のスキルアップに繋げることができました。また実習で得たことを自施設のユニットケア実践に努めました。

○安全衛生対策

介護職の腰痛対策として、外部指導員による腰痛予防研修会を実施し23名が参加しました。介護現場での中腰姿勢や前傾姿勢、体重の重い方の移乗など腰痛リスクは高い現状ですが、ストレッチ体操や腰痛ベルト着用を行うなど腰痛予防に対する意識の高まりがありました。

○地域交流と慰問

手向地区ならではの地域行事に触れる機会を持つことができました。保育園、小学校、中学校の慰問も増え、普段あまりない子供たちとの触れ合いに入所者の方たちは大変喜ばれました。毎年恒例となっている奉仕活動の方々のおかげで施設内外が綺麗に維持できとても感謝しております。

月1回程 羽黒すこやかな会・ペーパーフラワーの会・田川民話の会
ハーモニカサークル・童謡の会の皆様が来荘していただきました。

【慰問・奉仕作業・施設見学】

5月	庄内たがわ農業協同組合奉仕活動
7月	貴船保育園交流 羽黒山花祭り 子供みこし 日赤奉仕
9月	大東保育園 三幸寿司慰問 ライオンズクラブ奉仕活動 羽黒太鼓 寿賀伝達式（山形県）
10月	鶴岡第三中学校3年生
11月	貴船保育園慰問 家族会奉仕活動
1月	獅子舞 寿賀伝達式（鶴岡市）

	塞の神 羽黒一小3年生
--	----------------

*月2回理容組合のボランティアの方々が来荘していただきました。

○入退所の適正化

年間5回入所検討委員会を開催し、9名入所確定となりました。待機している間の死亡や他施設入所になるなど状況変化も多くありました。

【入所待機者】

	羽黒	鶴岡	藤島	朝日	その他	合計
27年度	9	13	4	5	0	31
28年度	3	4	2	0	0	9
29年度	7	2	1	0	0	10

指定短期入所生活介護事業所かみじ荘

◆総括

ご家族にかわり、入浴、排せつ、食事等介護の基本に沿ってお世話し、担当ケアマネとの情報共有と日々の状態把握にて環境の変化や認知症による不安感がなく、安心して滞在していただけるよう支援しました。

自分で行えることはしていただくななど、その方の能力に合わせた支援に努め自宅へ戻られても同様に生活動作ができるよう機能低下防止を図りました。

介護者の負担軽減やご家庭の介護力不足を補い、丁寧な対応を心掛け信頼していただける事業所づくりを目指しました。

◆重点目標に対する成果

利用前の事前面接では家庭での生活状況を聞き取りし、介護現場へ詳細を申し送ることで混乱なくスムーズな利用ができました。利用途中の生活の様子を隨時ご家族、担当ケアマネへ連絡し信頼関係を築きながら再利用へ繋がるよう努めました。

様々な疾患（認知症など）を持っておられる利用者に対しても、疾患の学習や理解を深め、常に対応方法を振り返りながら関わりを持ちました。

利用中のレクリエーションを充実させ、その方に合わせた作業の提供など楽しみの時間が持てるよう支援しました。

◆事業の実施結果

○利用状況

目標数値、前年度数値とも上回ることがです、特に上半期の利用者が少ない状況でした。例年春の農作業やお盆の時期は利用が増える傾向にありますですがそのような事が見られませんでした。

毎週定期利用者の施設入所、入院、死亡が多くあり、新規利用者もありましたが利用日数は多くなく利用率が伸び悩みました。冬期間の長期利用者受け入れを積極的に行い下半期は何とか例年の数値に追いつきました。

長期利用者は今年度に入っても滞在してくださっているため、体調管理に努め安定した体調で利用が続けていけるよう支援したいと思います。

【短期利用率】

(16床) (単位: 上段人数・下段%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	358	350	339	399	416	401	442	375	341	381	235	455	4,492
	74.5	70.5	70.0	80.0	83.8	83.5	89.1	78.1	68.7	76.8	52.4	91.7	77.0
28年度	345	393	341	321	359	376	425	354	455	475	367	393	4,608
	71.8	79.2	68.7	64.7	72.3	78.3	85.6	73.7	91.7	95.7	81.9	79.2	78.9
29年度	309	323	341	321	304	310	406	397	404	432	455	410	4412
	75.5	65.1	71.0	64.7	61.3	64.6	81.9	82.7	81.5	87.1	102	82.7	76.7

【新規利用者】

29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	3	3	4	3	3	3	5	5	1	1	7	39人

【平均介護度】

	27年度	28年度	29年度
介護度	3.4	3.3	3.2

○介護リスクマネジメント・苦情について

薬に関する事故が2件ありました。職員の慣れによるものやお互い声を掛け合うことで防げる事例でした。今後も原因の検証と再発防止策を講じ、常に危機意識を持ち、些細な変化にも気を配り職員間の情報共有にて安全な介護を目指します。

利用前はご家族へ介護リスクに対しご理解いただけるよう丁寧な説明を行い、事故発生時は早急な対応ができました。

【事故・ヒヤリハット報告】

	事故	骨折	擦過傷	その他	ヒヤリハット
27年度	3	(2)	(0)	(1)	2
28年度	6	(1)	(0)	(5)	1
29年度	2	(0)	(0)	(2)	1

指定ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘

◆総括

個室と少人数の環境で静かに落ち着いて、自分のペースで滞在できるよう支援しました。認知症疾患がある方に対しては、その方に寄り添いできるだけ混乱なく過ごせるよう生活リズムの見直しや対応の仕方を統一し関わりを持ちました。

担当ケアマネと調整を行いながらご家族の介護負担軽減を図り、丁寧な対応を心掛け信頼していただける事業所づくりに取り組みました。

◆重点目標に対する成果・達成

認知症ケア委員を中心によりその方の行動の原因や対応を話し合い、より良いかかわり方を実践しました。重度の認知症疾患の方も積極的に受け入れ職員と馴染みの関係で穏やかに滞在していただけました。

役割を持っていただいたり、生活習慣や好みを尊重し家庭に近い生活の提供に努めました。

また、本人の意向に沿った入浴と季節の献立や状態にあわせた安全な食事にて満足いただけるサービス提供を行いました。

◆事業の実施結果

○利用状況

目標数値、前年度数値とも大きく上回ることができました。新規利用者が32人あり、長期利用の方や毎週定期利用の方が増えている傾向です。居宅介護支援専門員と良好な関係が築けていることも要因の一つです。今後も体調管理に努め安定した健康状態で利用が続けていくよう支援していきたいと思います。

【ユニット短期利用率】 (10床) (単位：上段人数・下段%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	239	251	188	203	240	198	240	279	229	227	269	226	2,789
	79.6	80.9	62.6	65.4	77.4	66.0	77.4	93.0	73.0	73.0	96.0	72.9	76.4
28年度	193	252	175	232	247	213	201	210	182	190	220	194	2,593
	64.3	81.2	58.3	74.8	79.6	68.7	64.8	70.0	59.0	61.2	78.5	62.5	71.0
29年度	240	244	175	232	241	247	295	210	258	240	255	264	2901
	80.0	78.7	58.3	77.3	77.7	82.3	95.2	70.0	86.0	77.4	91.2	94.3	80.7

【新規利用者】

29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5	4	2	1	2	3	2	5	1	2	1	4	32人

【平均介護度】

	27年度	28年度	29年度
介護度	2.6	2.5	2.5

○介護リスクマネジメント・苦情について

骨折事故が2件あり、夜間帯トイレでの事故でした。普段できている動作という職員の慣れが事故に繋がってしまいました。常に危機意識を持ち、些細な変化にも気を配ることと職員間の情報共有を更に徹底していきます。

利用前はご家族へ介護リスクに対しご理解いただけるよう丁寧な説明を行い、事故発生時は早急な対応を行いました。

【事故・ヒヤリハット報告】

	事故	骨折	擦過傷	その他	ヒヤリハット
27年度	2	(0)	(1)	(1)	0
28年度	3	(1)	(1)	(1)	1
29年度	4	(2)	(0)	(2)	2

【苦 情】 2件

1件目はご自宅へ送迎時、玄関の上がり框へ車椅子を上げる際、床に傷をつけてしまう事故がありました。担当者が現場確認と謝罪で訪問し、早急に修繕の対応を取りました。

2件目は送迎時、衣類に汚れがついてしまいご家族から苦情がありました。車椅子移動時タイヤに袖がこすれていたことが原因で汚れてしまい、ご自宅へ発生状況の報告と謝罪に伺いました。対応に遅れがありましたがご家族に納得していただけました。今回の経験を今後に生かし、再発が無いよう情報共有、危機管理意識を高めていきたいと思います。

指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘

◆総括

住み慣れた地域で自分らしく、自立した生活が続けられるように、各居宅介護支援センター等と、連携を図りながら利用者や家族の要望に対応し、信頼していただけるよう努めました。また事故防止に対する啓発と感染症防止対策で大きな事故や感染症が無くサービスを提供することができました。

◆重点目標に対して

生活意欲と身体機能の維持・向上に努め、在宅での生活が継続できることを目標に取り組みました。新しい運動機器を取り入れ希望の手作業や書道・計算問題、季節の行事・レクリエーション等でサービス内容の充実に取り組みました。

入院や死亡・他施設入所等で利用者・利用回数が減少したため、居宅支援事業所へ空席情報を出し、利用者増員に取り組みましたが、冬期間の大雪も影響し利用回数を増やす事ができませんでした。30 年度は更に職員の意識と体制を整え、新たな取り組みを加算に繋げていきます。

【利用人数と利用率】

(単位:上段→人 下段→%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27	629	631	650	709	661	650	681	616	641	570	585	635	638
	80.6	80.9	83.3	87.5	84.7	83.3	84.1	82.1	82.2	79.2	78.0	78.4	82.0
28	651	637	645	636	702	646	641	648	610	588	583	650	636
	83.5	81.7	82.7	81.5	86.7	82.8	82.2	83.1	78.2	81.7	81.0	80.2	82.1
29	645	654	639	613	620	604	620	620	594	567	525	642	612
	86.0	80.7	81.9	78.6	76.5	77.0	79.5	79.5	76.2	78.8	72.9	79.3	78.9

【平成 28・29 年度入院・死亡等状況】 (人)

	入院	死亡	入所	その他
28 年度	21	12	4	5
29 年度	35	6	10	20

【平均介護度】

	27 年度	28 年度	29 年度
介護度	2.1	2.2	2.1

◆実施結果について

○自立支援の援助と家族との関わり

体力維持・機能低下防止に繋がるように、体力測定をおこない個々のできる範囲を把握し、軽度の負荷で出来る運動機器を新たに取り入れ効果的に活用できました。家族と身体状況や薬についての情報交換をこまやかにおこなう事で、安心して利用していただくことができました。遠方にいる家族に、精神的・身体的状態の変化を伝え早期に対応することができました。

地域の方達との交流の中で、社会とのつながりを感じてもらい生活意欲の向上を図ることができました。

○人材育成の強化

介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に取り組み、各1名合格することができ出来ました。法人からの助成があり経済的な負担を軽減することができ、研修を受けやすい環境の確保に努めました。また、各研修に積極的に参加し、情報収集と知識と技術の向上に努めました。

【内部研修】

内 容	人 数
介護職員の接遇マナー・介護技術の再確認・身体拘束・法令遵守について 認知症ケアの理解と基礎知識(2回)・レクリエーションの内容と目的 苦情対応と対策マニュアルの確認と見直し・手洗いの必要性について(外部講師) 感染症の理解と防止策・嘔吐物の処理実践・インフルエンザとノロウイルス対策 雪道の走行について・除雪について・虐待防止について・運動能力測定について・介護技術の再確認とレクリエーション・事故・ひやりはつとの傾向と対策	127

【外部研修】

実施月	参加人数	内 容
6月	2	平成29年度生活相談員研究会1回・総会
7月	1	平成29年度福利厚生センター東北ブロック「JOTスキルアップ研修」
	1	平成29年度前期デイサービス職員研修会
	1	平成29年度「機能訓練指導員研究会第1回研修会
	1	介護職員基礎研修(4回)
	1	社会福祉主事スクーリング
8月	1	チームリーダーキャリアアップ研修
	1	キャラバンメイトフォローアップ研修会
9月	1	平成29年度庄内地区特養連絡協議会職員研修会

10月	5	平成29年度介護保険適正化研修会
	1	平成29年度デイサービス安全運転協議大会
	1	第8回鶴岡地区自動車安全運転協議大会
11月	2	平成29年度デイサービス生活相談員研究会庄内ブロック定例会
	1	平成29年度後期デイサービス職員研修会
	1	施設送迎運転者勉強会
	1	平成29年度高齢者虐待防止研修会
	1	高齢者糖尿病治療の多職種連携勉強会
12月	1	平成29年度「地域福祉計画推進セミナー」
合計	23	

【地域交流レクリエーション】 来所団体と人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人	26	45	17	34	32	21	22	18	55	19	0	21	310
内容	羽黒すこやかな会、田川民話の会、ペーパーフラワー、羽黒太鼓、ちどり歌謡会、大正琴、ハーモニカサークル、泉レクダンス、貴船保育園												

○介護予防・日常生活介護支援総合事業について

予防から総合事業へ移行となり、当初は戸惑いがありました。包括支援センターと連携を図り、個々の目標が達成できるように、活動内容に変化をもたせ、体力維持や他利用者との関わり方に重点を置き、自立に向け適正なサービス提供に取り組みました。

○利用者の健康と処遇について

洗面台の改装をおこない、来所時の手洗い・うがいがスムーズになり、インフルエンザやノロウイルスの感染症の予防につながりました。食後のうがい義歯洗浄等も広いスペースでゆっくりおこなうことができました。誤嚥性肺炎や細菌性の病気予防のため、食事前の嚥下体操を実施し、おいしく食べることができますように努めました。

○ひやりはっとと事故報告について

交通事故	ひやりはっと	事故	苦情
4件	4件	15件	2件

・交通事故は交差点での事故が1件、塀や電柱への接触があり、同乗者の怪我は無かった物のご家族や地域住民の方には大変ご迷惑をかけました。骨折等の大きな事故は無く経過しましたが、衣類や内履きのバックへの入れ間違い等が多くあり、思い込みや確認不足が原因でした。職員間で声をかけ確認することが重要であり、再発防止に努めていきたいと思います。

指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘(認知症対応型)

◆総括

利用者同士が馴染みの関係を創り、落ち着いて安心して利用していただくことができました。家族の身体的・精神的負担の軽減ができるようにサービスを提供する事が出来ました。

◆重点目標に対して

認知症の症状と、本人の思いを理解できるように寄り添い、穏やかな気持ちで過ごしてもらえるように取り組みました。人生背景や病歴からアセスメント表を作成し、さらに深くその人を理解する事に努めました。他施設入所や死亡等で利用者の減少があり、居宅支援事業所へ利用空席情報出し、担当支援専門員と検討を重ね、後期は利用回数の増回ができましたが、前期の落ち込みが大きく、回復する事ができませんでした。30 年度は担当支援専門員と更に検討を重ね、利用拡大に繋げていきます。

【利用人数と利用率】

(単位:上段→人 下段→%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27	216	217	208	209	234	222	228	168	176	187	196	210	206
	83.1	83.5	80.0	77.4	90.0	85.4	84.4	67.2	67.6	77.9	72.8	77.8	78.9
28	191	189	181	182	187	165	173	152	163	146	151	161	170
	73.5	72.7	69.6	70.0	69.3	63.5	66.5	58.5	62.7	60.8	62.9	59.6	65.8
29	134	130	125	132	139	155	158	167	189	175	158	183	154
	53.6	48.1	48.0	50.1	51.5	59.6	60.8	64.2	72.7	72.9	65.8	67.8	59.5

【平均介護度】

	27年度	28年度	29年度
介護度	3.0	3.4	3.2

◆事業の実施結果

○地域との連携

運営推進会議を2回開催し、かみじ荘の認知症対応型サービスの取り組みを見学していただき、地域の委員の方々より、認知症に対する考え方や思いを聞かせていただきながら、地域に開かれた事業所の運営に努めました。

季節の行事やドライブ、地域交流等で地域住民との関わりを持つことが出来ました。

【地域交流レクリエーション】 来所団体と人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人	26	45	17	34	32	21	22	18	55	19	0	21	310
内 容	羽黒すこやかな会、田川民話の会、ペーパーフラワー、羽黒太鼓 ちどり歌謡会、大正琴、ハーモニカサークル、泉レクダンス、貴船保育園												
容													

○認知症ケアの充実

認知症実践者研修の専門研修や認知症に関する多種の研修を受講することで、発症の要因や症状を理解し、日常生活の安定に努めました。

○人材育成と職員教育

介護福祉士と介護支援専門員資格取得に取り組み、各1名合格することができました。法人からの助成があり経済的負担を軽減することができ、研修を受けやすい環境の確保に努めました。また各研修に積極的に参加し、情報収集と知識と技術の向上に努めました。

【内部研修】

内 容	人 数
介護職員の接遇マナー・介護技術の再確認・身体拘束・法令遵守について 認知症ケアの理解と基礎知識(2回)・レクリエーションの内容と目的 苦情対応と対策マニュアルの確認と見直し・手洗いの必要性について(外部講師) 感染症の理解と防止策・嘔吐物の処理実践・インフルエンザとノロウイルス対策 雪道の走行について・除雪について・虐待防止について・運動能力測定について・介護技術の再確認とレクリエーション・事故・ひやりはつとの傾向と対策	28

【外部研修】

実施月	参加人数	内 容
6月	1	平成29年度生活相談員研究会1回・総会
7月	1	平成29年度福利厚生センター東北ブロック「JOTスキルアップ研修」
8月	1	平成29年度認知症実践者研修8日間
10月	1	平成29年度介護保険適正化研修会
11月	1	平成29年度デイサービス生活相談員研究会庄内ブロック 1 平成29年度キャラバン・メイト養成講座
12月	1	キャラバン・メイト研修会 若年性認知症ご本人の講演会
合計	7	

○利用者の健康と処遇について

洗面台の改装をおこない、来所時の手洗い・うがいがスムーズになり、インフルエンザやノロウイルスの感染予防につながりました。食後のうがい・義歯洗浄・歯磨きも広いスペースでゆっくりおこなうことができました。誤嚥性肺炎や細菌性の病気予防のために、食事前の嚥下体操を実施し、おいしく食べることができるよう努めました。

○ひやりはっとと事故報告について

交通事故	ひやりはっと	事故	苦情
0 件	6 件	13 件	3 件

- 骨折等の大きな事故は無く経過しましたが、衣類や内履きのバックへの入れ間違い等が多くあり、思い込みや確認不足が原因でした。苦情は送迎時に係ることが多く、職員間の引継ぎと確認することが重要であり、再発防止に努めていきたいと思います。

指定訪問介護事業所かみじ荘 障がい者居宅介護事業所かみじ荘

◆総括

住み慣れた自宅や地域の中で、利用者・家族の思いを大切に、気持ちに添いながら、サービスを提供し、その人らしい生活が継続できるよう支援しました。介護士全員が利用者の状態変化や、援助時の留意点を把握しサービス提供ができるよう、情報の共有に努めました。

障がい者居宅介護については、「いろんな情報ガイドブック」等に事業所の情報を提供し掲載してもらう等働きかけはしましたが、居宅介護を必要とする利用者がなくサービス提供には繋がらない状況でした。

◆重点目標に対する成果・達成

利用者、家族が不安のない日常生活を営むことができるよう、各関係機関と連携を図り、異常時の早期発見やサービスの見直しをしながらサービス提供をおこないました。新規利用者は昨年より増加したものの、一日複数回訪問していた利用者が、入院・入所等で訪問回数が減ったことで、目標を達成することができませんでした。30年度は健康状態の把握や服薬状況の確認をさらに強化し、在宅生活を長く継続できるよう取り組んでいきます。人員体制の整備に関して募集や呼びかけは行ったものの、人員の確保には、至らない状況であった為、引き続き職員の確保や管理体制の改善をおこなっていきます。

【利用実績】

年度	訪問回数				訪問時間			
	介護保険	介護予防	総合	障がい	介護保険	介護予防	総合	障がい
27	3,690	73	0	0	2,732：23	92：30	0：00	0：00
28	5,779	119	0	0	3,865：41	111：15	0：00	0：00
29	5,447	29	237	0	3,339：09	35：45	196：45	0：00

◆事業の実施結果

○関係機関との連携

サービス提供にあたっては、本人のニーズを理解したうえで、介護士が情報を共有し、統一したサービスを心掛けてきました。介護者も高齢である為、利用者の異変に気付きにくい状況であり、専門的な情報を理解しやすい言葉で伝えるとともに、担当の介護支援専門員にも、情報提供しながらサービスを提供してきました。また、訪問した介護士が状態変化に気づ

き、他職種、機関と連携を取り救急搬送し、重症化せずに済んだケースや、定時の訪問をすることで、家族が安心して就労することができ、本人も不安なく生活ができるよう支援することができました。

○日常生活支援総合事業の取り組み

地域包括支援センターとの連携を取りながら、利用者が目標を達成できるよう、利用者一人一人のニーズや家族の思いを理解し利用者とともに作業をしたり、適切な助言をすることで、在宅で自立した生活が継続できるよう取り組むことができました。また、サービスを提供した結果や改善点についても、他職種間で連携を取り、モニタリングや見直しをおこないながら援助しました。家の敷地内で動けなくなっていた利用者を発見し、他職種、家族とスムーズに連絡調整を取ることでき、重大な事案にならずに済んだケースもあり、訪問した介護士が異変を早期発見すること、観察力の強化に取り組みました。

○職員研修

毎月の訪問介護士会議の中で、基本を重視した研修を実施しました。外部研修は、訪問時間と重なり、全員が参加することはできなく、訪問を調整し参加しています。

内 訳	参加人数	研修内容
内部研修	97 人	記録・報告書の書き方、事例検討、食中毒・感染症について、脱水症について、認知症ケアについて、事故防止（身体拘束・虐待） 介護技術・行動規範について、マニュアルの見直し、ヒヤリハット・クレーム
外部研修	7 人	能力開発啓発セミナー、介護技術講習 介護保険適正化研修、地域福祉推進セミナー 脱水症について、手洗について

○ひやりはっとと事故について

交通事故	ひやりはっと	事故報告	苦情
1 件	0 件	2 件	0 件

交通事故 1 件、ベッドからのずり落ち等の事故がありました。利用者は大きな怪我もなく経過しましたが、一人で業務をする中で、常に予測する事を意識し、職員自身も高齢である為、交通安全や、自分自身の安全の確保をおこない再発防止に努めています。

指定居宅介護支援センターかみじ荘

◆総括

平成 29 年度は、職員が定期的に話し合い協力・連携を図ることに力を入れました。特に利用者の生活上の課題を踏まえ、根拠を示しながら自立支援に向かた「わかりやすいケアプラン」の作成に努めました。

施設へ入所者 20 人、死亡者 27 人で、合計 47 人の利用者が減った事に対し、同一世帯からの相談、職員家族からの相談など新規契約者は 28 年度より 13 人増え 68 人となり、新規相談と契約について増加しました。しかし、利用については安定せず入院や保留となるケースもあり平成 29 年度の月平均利用者数は 187 件(平成 28 年は 183 件)で、利用者の高齢化に伴い、長年在宅生活を続けてきた方の施設入所等や亡くなる方が多く流動的な利用者の増となり煩雑な業務内容となりました。今後も地域や世帯環境の問題を把握しながら「気づきの出来る」支援にあたります。

積雪の多い年でしたが 1 件の車両物損事故がありました。居宅支援の車両 2 台を買い替え・カーポートの設置により効率よく訪問等を実施しました。

介護教室の開催により、かみじ荘に対し地域の要望を知る機会となりましたが、開催方法について各部所との連携方法が課題となりました。

◆重点目標に対する成果・達成

特に異動 2 年目の職員が頑張り、鶴岡市主催の自立支援ケア会議・ケアプラン点検で良好な評価を受けています。しかし、職員の対応力不足により 4 件の苦情も有りました。対策として、管理者(主任介護支援専門員)等と 2 名で同行訪問を行い新規利用者・状態の変化に対し可視化で説明する等、丁寧な対応を行いました。今年度は、新人職員・異動職員を迎える管理者等と 2 名で同行訪問する等は継続致します。

医療者側主催の緩和ケア等の研修・鶴岡地区医師会・地域医療連携室主催の研修に多く参加し自己研鑽を図り、さらに伝達研修を開催し職員の資質向上を図ることに力を入れました。課題としてターミナルケア支援の実績を積むことが必要とされており、医療連携の対応について、さらに強化致します。

また、包括支援センターと連携を図り困難事例検討会へ出席し対応できるようにします。

集中減算については、昨年度も要件を満たしており、特定事業所加算Ⅱ(1 人 400 単位/月)を算定しています。

【ケアプラン作成件数】

(単位:件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	178	174	170	185	188	183	184	179	180	178	179	178	2,156
28	177	177	182	186	182	187	185	185	188	185	185	185	2,204
29	190	182	183	184	188	187	190	186	188	190	191	188	2,247

【施設外研修参加状況】

実施月	参加人数	研修内容	
4月	1人	認定調査員新規研修	
5月	3人	地域緩和ケア症例検討会	
6月	11人	介護支援専門員更新研修(I) 庄内認知症あんしん生活実践塾 庄内プロジェクト緩和ケアを学ぼう会 山形県社会福祉法人研修会	
7月	8人	介護支援専門員更新研修(I) 社会福祉法人連携で取り組む研修会 介護支援専門員スキルアップ研修会	
8月	3人	鶴岡市医療と介護の連携研修会	
9月	1人	山形県介護支援専門員協会支部研修会	
10月	22人	鶴岡市主任介護支援専門員研修会 介護支援専門員更新研修(II) 自動車安全運転競技会 ・ケアネットつるおか研修会 緩和ケア特別講演会 ・アルコール関連問題研修会 介護保険適正推進事業研修会	
11月	17人	介護支援専門員更新研修(II) 排尿ケア研修会 ・認知症対応力研修会 医療と介護の連携研修会 ・高齢者虐待防止研修会 キャラバン・メイト養成研修会 鶴岡市認定調査員現任研修会 ・精神医療とパスを学ぶ	
12月	1人	社会福祉士実習指導者講習会	
2月	3人	ほたる多職種研修会・地域福祉計画推進セミナー	
3月	11人	いつまでも口で食べられる町づくり講演会 緩和ケアを学ぼう会 ・ほたる多職種研修会 地域緩和ケア症例検討会 高次脳機能障害者支援センター研修会	
合計(延べ)	81人		

地域包括支援センターかみじ荘

◆総括

平成29年度は、主任介護支援専門員と社会福祉士が兼務、看護師の専門職2名が主に地域包括支援業務の中の主である総合相談業務（相談支援、権利擁護、包括的・継続的マネジメント、介護予防マネジメント）を実施し、指定予防支援、介護予防マネジメントにおけるサービス計画作成は介護支援専門員（プランナー）が月平均35件の担当を行い、専門職2名も各10件程度の担当を抱え、専門職種業務は多忙であったが事務的な面を分担し業務を行ってきました。

又、平成29年度介護予防日常生活支援総合事業が施行になり、サービス計画の作成と給付管理業務が複雑になりましたが、大きな混乱もなく年間352名の利用につなげ、業務にあたることが出来ました。特に羽黒地域は総合事業中の一般介護予防事業における「住民の通いの場」の創設については、民生委員・児童委員をはじめ地区自治振興会、羽黒庁舎市民福祉化等と連携し鶴岡市でも上位の普及、推進を図ることができ、鶴岡市全体での実践報告を行うことが出来ました。

【地域包括支援センター職員配置】

年 度	主任介護支援専門員	看護師	社会福祉士	介護支援専門員	事務員
27	1	1	1		
28	(1) 兼務	1	(1) 兼務	1(H28.9より)	
29	(1) 兼務	1	(1) 兼務	1	1

◆重点目標に対する成果・達成

相談支援に関して高齢者担当ではありますが、多問題世帯におけるケース検討も実践し鶴岡市地域生活自立支援センター（生活困窮、ひきこもり支援）等との専門機関と協働し課題解決を図ることが出来ました。また、相談内容によっては障害福祉サービス検討や担当者と連携し課題解決を図りました。

地域の困難ケースに対しては、住民の協力を得て地域ケア会議（個別事例検討会）を年13回開催し、すべて解決の方向に向かうことが出来ました。

地域住民に対しては「通いの場の創設」の推進だけでなく、介護保険制度の説明や消費被害等パワーポイントを用いてわかりやすく説明を行う事ができました。平成30年2月24日の羽黒百寿会地域貢献事業においては、地域を回り、事業の宣伝を行い参加者のほとんどが介護を実践していない人で興味がある方を参集することができ、地域住民に羽黒百寿会の業務内容や介護保険について周知する事ができたと思います。

◆事業の実地結果

○総合相談支援に対応できる職員の質の向上

多様な相談に対応できるように各専門職の資質向上研修などに積極的に参加し、研修後には伝達講習会を実施しスキルアップを図ってきました。疑問に思った事はそのままにせず、鶴岡市の生活保護担当ケースワーカーや鶴岡市地域生活自立センターと情報交換や協働する事で課題解決を図る事が出来ました。

○介護予防・日常生活支援総合事業、一人ひとりに応じた介護予防の推進

鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業の施行にあたり、職員が制度とマネジメントについての理解に努めました。複雑化した給付管理業務に関しては、鶴岡市のQ&Aを参考にしながら職員で協議し間違いないように努めました。

一般介護予防事業に関しては、羽黒地域では鶴岡市で上位の普及となり、住民が状態に応じたサービスの利用を自由に選択できるようになってきている現状です。

○認知症支援体制の強化

鶴岡市徘徊SOSネットワーク事業等の制度は、徘徊者が出ても素早く発見できるシステムであり対象者家族にはわかりやすく説明し登録するよう促しました。現在5名の登録者がいます。

認知症状で相談があった場合は、医療機関に素早く繋げるようになり、包括支援センター側で医療機関に連絡を取り、受診前に医師へ症状について情報を入れるようにしました。

羽黒中学校福祉学習や郵便局員の新人研修会において、認知症サポーター養成講座を行い認知症の理解が深まるよう支援しました。

【地域包括ケアシステム構築のための事業、会議の回数】

年度	介護予防普及啓発	地域ケア連絡等の会議	事例検討会議
27	15	61	1
28	14	55	7
29	10	40	13

【地域包括支援センターかみじ荘の相談件数】

年 度	新規	相談者(延べ)			相談形態			総合相談内容(延べ)										介護予防マネジメント	指定予防支援		
		本人・家族等	その他	計	訪問	来所	電話	その他	実態把握	特定高齢者関係	権利擁護関係	介護関係	疾病・障害関係	包括的	在宅福祉サービス	医療関係	経済的問題	要支援者			
27	130	1948	1317	3265	716	248	1403	253	39	124	62	653	755	131	67	105	64	198	39	790	0
28	147	1300	605	1905	552	261	554	24	105	50	18	474	416	112	59	103	31	40	9	531	0
29	101	1621	769	2390	711	195	752	40	45	0	18	241	625	87	23	30	29	58	5	564	352

※包括的:介護支援専門員に対する相談、支援

貴船保育園

◆総括

平成 29 年度、4 月当初は園児数 120 名から出発しました。その後途中入所により最終では 136 名のお子さんをお預かりし、一人ひとりの発達に寄り添った関わりを心がけ保護者との信頼関係を作ってきました。

0 歳児から就学までを見通した「保育課程」に添って年齢毎に年間、月間、週の指導計画を立案、育って欲しい子ども像に向かって保育を実施してきました。指導計画には養護（生命の維持、情緒の安定）と教育（健康、人間関係、環境、ことば、表現）、食育を内容として盛り込み最後に職員は自分の保育を振り返り自己評価し保育の質の向上に努力してきました。

また地域とのつながりを大切にしてきました。かみじ荘や近隣の老人施設への訪問や園行事へお誘いしたり、畠のアドバイスをいただいたり、羽黒地域 3 園とは 5 歳児交流を続けてきました。民生委員の方にも七夕やクリスマス会、卒園式など園の行事等を見ていただきました。

<園児数の推移>

(単位：人)

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
27 年度	4 月	6	21	23	26	30	26	132
	3 月	19	16	23	26	30	26	140
28 年度	4 月	10	15	19	25	26	30	125
	3 月	23	17	19	24	26	30	139
29 年度	4 月	11	24	18	18	23	26	120
	3 月	24	24	19	18	25	26	136

◆保育目標に対する成果

保育園は子育ての良きパートナーとなり保護者の方からは子どもの心もちに寄り添ってもらえるように保育園の姿を伝え成長を共感できるように努めきました。仕事をしながらの子育てが楽しいものとなるように願うと共に保護者が気持ちにゆとりを持つことが大切と考えています。

個々の発達を踏まえ、一人ひとりの気持ちを丁寧に受け止めるような関わりを通して子どもたちの情緒が安定し落ち着いて過ごしたり、喜んで遊ぶ姿が見られました。朝の受け入れの中で異年齢が一緒に遊ぶことで交流となり、憧れの気持ちで大きい子の遊びを見ていたり「真似してやってみよう」という気持ちが芽生え意欲に繋がりました。頑張れる力は頑張りを認められた経験と、褒められた経験の中で培かう自己肯定感の育ちです。どの子も家族や回りの人に大事に

されているということを踏まえて自己肯定感を培うように努めてきました。

安全面では毎月の安全点検を職員が複数で実施。多くの職員の視点で見ることで細かいところの危険個所の発見にもつながりより安全な環境を整える事ができました。

健康分野で一番気遣ったのが流行性の疾患です。28年度に胃腸炎が流行したことを踏まえ嘔吐時の対応を保健師を中心に全員で確認して備えました。

事故、安全対策では事故対応、火災、地震、風水害、落雷、不審者対応のマニュアルを作成。職員周知を第一に訓練、シミュレーションをしながら万一に備えました。

◆事業の実施結果

○保育環境作り

0、1歳児が増え、0歳児は途中から2クラスに分け一人ひとりがゆったりと過ごせるように、また保護者にとっても安心して預けてもらえるように配慮してきました。ハイハイやよちよち歩きなどが、安全にできるよう部屋の使い方を工夫したり、畳やマットなど身近なものを遊びの中に活用したり心身の発達を促してきました。毎月の職員会やミーティング等で一人ひとりの育ちを見つめ直し、より成長できるような環境設定について話し合い、職員全体で対応できるようにしてきました。

また、羽黒地域や園内研修で自然について学び合い草花の名前を調べたり遊び方を出し合いながら散歩マップの作成をしました。

○職員の資質向上

子どもと関わる職員として更に一人ひとりが意識を高められるよう研修には積極的に参加できるようにし、会議等で報告する機会を作ったり、実践していくことで情報の提供に努め資質向上にもつながりました。

園内の会議等では、グループでの話し合いを多く持ちながら聞くだけでなくその中で一人ひとりが発言する機会を作りながら会議を進めてきました。

【研修参加状況】

内訳	参加人数	研修内容
内部研修	115 人	救命救急講習会、心肺蘇生法研修 専門家チーム巡回相談 羽黒地域職員研修会、羽黒地域グループ研修 園内職員研修（園庭・散歩コース自然研修）等
外部派遣	91 人	新人職員交通安全セミナー 1人 カウンセリングセミナー 1人 感染症とアレルギー研修 2人 職場研修指導者研修 1人 保育所職員研修 1人 初任者キャリアアップ研修 1人 中堅職員キャリアアップ研修 1人 チームリーダーキャリアアップ研修 1人 TEECCHに学ぶ幼児期の自閉症療育研修 4人 読書推進ネットワーク研修会 1人 次世代育成セミナー 1人 感染症・食中毒対策に関する研修 2人 長期療養児療育支援 1人 子育て支援者向け研修会 2人 福祉職員キャリアアップ対応各種研修会 4人 保育理論研修会 3人 児童虐待の実態とその対応研修会 2人 園長、所長合同研修会 1人 子どもの育ちを支える運動研修会 1人 園庭研究会 3人 鶴岡市保育園協議会各種部会 7人 鶴岡市保育園協議会保育大会 27人 鶴岡市保育園協議会研修会 23人
合計（延べ）	206 人	

羽黒子育て支援センター

◆総括

近年は0. 1. 2歳での入所が多くなり、春は少人数でのスタートでしたが年間を通しては子育て支援事業や支援室開放を介し多く在宅子育て家庭のお子さんと出会うことができました。その中で出される保護者の様々なニーズを捉えながら羽黒地域の子育て支援の役割と責任を考え運営してきました。

貴船保育園の支援センター「にこにこ広場」では参加者の殆どは低年齢のお子さんでしたので、遊びの環境など年齢に合ったコーナーを工夫してきました。遊びの満足感を持たせるには難しさを感じ試行錯誤の日々ですが、保育園との併設を生かし気軽に遊戯室や園庭に行けるようにしたり、保育園探検、プール遊び、焼き芋パーティーなどの保育園行事にも参加もできるようにし、保育園職員の協力をもらい保育園全体で受け入れてきました。

各サークルではリーダーさんを中心に参加メンバーが協力し合って活動を進め、支援員はお手伝いという形で参加しました。

29年度も「こだまっこ」は参加者がなくお休み、また「ひろせっこ」も10月からお休みという形をとつきましたが、“地域にある貴重な子育ての場”を守りたいという思いは変わらず、活動センターの方とも協議しながら10月に芋煮会を企画し呼びかけていきました。羽黒地域の方だけでなく市内からも参加があり、次年度も引き続き、こういった活動を継続していくたいと話し合いました。

◆保育目標に対する成果

気軽に相談できる支援センターを目指すと共に、支援員の専門性の向上のために、鶴岡市内の担当者との共済イベントや交流会、研修会、会議などに積極的に参加し学びを深め、支援員としてのスキルアップに努めました。

また各事業では羽黒地域の保健師さんや総務企画課の協力を頂き、保護者が子どもの育ちについての知識を深め、安心して子育てができるようにすることに重点を置き実施しました。

◆事業の実施結果

○にこにこ広場（支援室）・サークル利用者人数

年度	事業名	開催回数	参加人数（大人）	参加人数（子）
平成 27 年	にこにこ広場	211	706	726
	だいとうっこ広場	39	154	154
	いずみっこ広場	40	187	194
	ひろせっこ広場	39	64	65
	こだまっこ広場	30	5	3
	合計	359	1116	1142
平成 28 年	にこにこ広場	207	522	570
	だいとうっこ広場	29	135	151
	いずみっこ広場	28	92	114
	ひろせっこ広場	28	75	76
	こだまっこ広場	0	0	0
	合計	292	824	911
平成 29 年	にこにこ広場	230	405	488
	だいとうっこ広場	43	108	110
	いずみっこ広場	31	90	92
	ひろせっこ広場	10	4	4
	こだまっこ広場	0	0	0
	合計	314	607	694

今年度は利用者減少のため、こだまっこ広場・10月よりひろせっこ広場をお休みしています。

また、来年度より羽黒地域にあった4つのサークルを『はぐろっこ広場』の1つとし、運営していくことになります。活動日としては、毎月2・4週の火曜日は手向地区地域活動センター、金曜日は羽黒コミュニティーセンターにて行うことになりました。

○育児相談事業

年度	発育発達	生活習慣	育児方法	生活環境	その他	合計
平成 27 年	28	51	6	11	26	122
平成 28 年	12	18	10	8	4	52
平成 29 年	37	17	6	22	8	90

年々電話相談・メール相談は減少し、一番はにこにこ広場やサークル訪問時に相談を受けることが多くなってきています。保護者の方々は様々な場面で相談してくれるので、いっぱい話しかけることを心がけ、保護者自身が決断や判断が出来るようにアドバイスしてきましたが、相談内容が幅広いため、保育園園長、関係機関と連携を図りながら対応してきました。

○研修参加者人数

参加人数	研修名
3名	第1回 地域子育て支援センター担当者会議
2名	第2回 地域子育て支援センター担当者会議
2名	第3回 地域子育て支援センター担当者会議
2名	第1回 鶴保協講演会
2名	第2回 鶴保協講演会
0名	第1回 ロールプレイ研修会
2名	第2回 ロールプレイ研修会
25名	心肺蘇生法研修
2名	子育て支援センター実技研修会
2名	子育て支援講演会
1名	カウンセリングセミナー（山形市）
2名	地域子育て支援拠点研修会
2名	サークルリーダー研修会
2名	視察研修（市内の支援センターと学童）
合計 49名	

泉、広瀬学童保育所

◆総括

子ども達の豊かな人間性を育みながら、楽しく生き生きとした生活が送れるように、家庭や地域等と連携し心身共に健全な育成に努めてきました。

泉学童保育所は夏休みや春休みなどの長期間の休み利用や家庭の都合等一時的な利用も含め 25 名の入所があり、平均利用児童数は 23 名。広瀬学童保育所は長期間の休み利用や一時利用も含め 52 名の入所があり、平均利用児童数は 44 名の利用状況でした。通常の支援員や代替職員に、新たに夏休みの一日保育期間中に継続して勤務できる 2 名の代替職員が加わったことで、小学校のプール利用時の引率者もしっかりと確保できました。平成 28 年度よりも多い日数を安心・安全にプール利用でき、子ども達からも保護者からも満足の声が聞かれました。長期休み期間中の支援員数に関しては、勤務体制が難しくなることもあり、引き続き代替職員の登録を増員していくかなければと考えています。

◆重点目標に対する成果・達成

遊びや生活を通し、子ども達が自分らしさを出しながら居心地良く過ごせるよう「安心して過ごせる生活の場、遊びの場、学びの場」の環境作りに努めてきましたが、子ども一人ひとりの発達課題もあり、子ども同士の関わり合いの中での仲立ちや支援には課題が大きく残る状況でした。今後も支援員は子ども達との楽しい豊かな生活づくりが行えるよう資質向上に努めると共に、発達支援についての学びを深めその子にあった配慮や支援ができるよう、職員会議で気になる子への関りを共有したり、各種研修会等にも積極的に参加していきたいと思います。

また、集団の中での主体性を大切にした子ども同士の関わりや「仲間づくり」を目指してきました。学童保育 2 年目ということもあり、諸行事を実施するにあたっても 1 年目の経験と反省を活かし、さらに各職員の得意とする部分を引き出しつつ、子ども達の個性や自主性を尊重した活動の進め方が少しづつできるようになってきました。今後も子ども達の主体性や自主性を尊重した支援に努めていきたいと思います。

◆事業の実施結果

○安心・安全な放課後の生活づくり

年齢や発達、性格性、家庭事情等子ども一人ひとりの心身の状態を把握し、個々の心もちに寄り添った関わりを努めると共に楽しい遊びを一緒にすることで安心感や信頼関係を築いてきました。また、気持ちよく過ごすためのルールづくりやおやつづくりなどの諸行事を実施するにあたっては、子ども達の意見を聞きながら行事を計画し、1 年生から 6 年生までの異年齢が縦割りで活動することで、上級生はリーダーとしての自覚が芽生え普段の遊びの

中でも下級生に優しく教えてあげる姿が見られてきました。異年齢の子ども達が遊びや生活を通して、互いに慕ったり慕われたりする関係も見られ、引き続き、上級生を中心とした班活動の中で子ども達の自主性や意見を大事にし、互いの良いところを認め合えるような環境づくりに努めていきたいと思います。

○職員の資質向上

子ども・子育て支援制度に基づく「放課後児童支援員認定資格研修」に泉・広瀬各学童から1名参加し、資格を取得しました。また、庄内地区指導者研修等外部研修にも積極的に参加し、入浴剤作りやスノードーム作り等研修で学んだ遊びを実践し、保育の資質向上につながりました。

子ども達が遊びや生活を通して健やかな成長ができるよう、支援の必要な子どもには、支援員同士が話し合う場を定期的に開催し、子ども達の状況の理解を深めることに努めてきました。支援の必要な子どもの特性の理解を深めるにはまだまだ課題があり、特性理解や支援方法など職員の資質向上のため引き続き各種研修等に積極的に参加し、専門性の向上を図りたいと思います。

◆研修報告

No.	研修名	主催	参加人数
1	放課後児童支援員認定資格研修	山形県学童保育連絡協議会	2人
2	放課後子ども総合プラン指導者研修会(年4回)	山形県教育委員会	第1回 9人 第2回 9人 第3回 9人 第4回 9人
3	山形県放課後児童クラブ指導員研修会	山形県学童保育連絡協議会	2人
4	庄内地区指導者研修会	山形県教育委員会	2人
5	新人研修	鶴岡市学童保育連絡協議会	2人